

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公開番号】特開2020-120781(P2020-120781A)
【公開日】令和2年8月13日(2020.8.13)
【年通号数】公開・登録公報2020-032
【出願番号】特願2019-13318(P2019-13318)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和3年12月6日(2021.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

所定条件の成立に基づきゲームを実行し、当該ゲームの結果が特別結果となった場合に、遊技者に遊技価値を付与可能な遊技機が知られている。このような遊技機において、特別結果となる確率設定値を選択する機能を備えた遊技機が知られている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2013-42871号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明の目的は、確率設定値の設定に伴う不都合を防止することである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、
始動条件の成立に基づきゲームを実行可能な遊技機において、
遊技の制御を行う制御手段と、

前記ゲームの抽選に用いる確率値が割り当てられた確率設定値を設定可能とする設定手
段と、を備え、

前記制御手段は、

電源が遮断されても記憶された情報を保持可能な記憶手段を備え、

電源の投入時に所定の条件が成立している場合に、前記確率設定値を設定可能な設定可
能状態とすることが可能であり、

前記確率設定値の設定を行うことによって、前記記憶手段に記憶された情報を初期化す
ることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、確率設定値の設定に伴う不都合を防止することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立に基づきゲームを実行可能な遊技機において、
遊技の制御を行う制御手段と、

前記ゲームの抽選に用いる確率値が割り当てられた確率設定値を設定可能とする設定手
段と、を備え、

前記制御手段は、

電源が遮断されても記憶された情報を保持可能な記憶手段を備え、

電源の投入時に所定の条件が成立している場合に、前記確率設定値を設定可能な設定可
能状態とすることが可能であり、

前記確率設定値の設定を行うことによって、前記記憶手段に記憶された情報を初期化す
ることを特徴とする遊技機。